

(福)あしなみホームページへの掲載と避難訓練の報告

(福)東京都共同の共同募金の整備費・特別事業費配分 (A 配分) に下記のように申請を行い、幸いに審査の合格を頂きましたので下記にその経緯を掲載いたします。

申請事業内容としては、【配分申請事業名】地域・施設関係による大災害時防災訓練事業 (法人全体事業)です。

【申請理由】

ここ数年で世界的にも大水災害や大地震で多くの人命が失われています。地球の更なる地下マグマ活性化で世界中至る所で驚異的な地震や大雨による洪水被害が起きています。

特に日本は歴史的にも大地震で大きな災害に見舞われています。ここ 35 年程の間に阪神淡路大震(1995/1/17)、新潟中越地震(2004/10/2)、東日本大震災(2011/3/11)、昨年(2024)の正月に突然発生した能登半島地震(2024/1/1)はいまだに通常生活に困難が続き、更なる災害関連死者数が増えています。

一昨年、東京都は関東大震災 100 年を迎え、ここ数十年の内に首都直下型の大きな地震が発生すると報道されています。また、南海トラフ地震ニュースも多く取り上げられています。大変残念な事に都会に住んでいる多くの方は、自分は大丈夫だと思っている方が非常に多くとても残念です。

特に最近では高齢者世帯、独居高齢者、一人親世帯が多く、また超高層マンションが増加して、災害発生時には高齢者や幼児等に大きなダメージが生じます。その人々の命をどの様に救い、一人でも命を落とさないで避難することが出来るか、大変大きな課題だと考えています。

上記の理由で補助金を申請致しました。

【期待される効果】

そこで、私たちは地域の中で社会福祉法人として、色々な事業を展開させて頂いています。職員は基より、そこに働く利用者さんの力も借りて、地域町会の役員さん、民生委員の皆さんと一緒に協力して、一人でも命を落とすことが無いように合同で安全なルートを確認した上で、緊急避難所に誘導することが地域との共存と共助で、結果的に恩返し出来ると考えています。

そこで、緊急避難時に必要な、目立つ避難誘導ビブス、案内音声機、誘導時に必要な無線機、LED ヘッドライト、避難誘導旗等を活用して、日常生活の中で地域の方々と一緒に避難訓練を積極的に実施したいと考えています。 ”一人でも多くの命を守り・救う” がスローガンを掲げました。

(現状と必要性)

足立区内に就労継続支援 B 型事業所 6 施設で今後発生するであろう大地震及び大水災害において、施設の利用者・職員のみならず、近隣の地域にお住いの高齢者世帯、高齢者 1 人世帯、障害者、児童の皆の命を守りたい。地域の自治会と協力して安全な場所への避難訓練や災害時に施設職員が率先して安全な場所に速やかに避難出来るよう、目立つ色のビブスを着用し、音声案内機やのぼり旗等を使用して分かり易い誘導を繰り返して訓練していく事にしました。これらの訓練や実際に災害が発生したとき、如何に速やか且つ安全に命を守るかが重要と考えます。

(事業実施後の期待される効果)

大災害は何時突然に発生するかは全く予測できません。災害が発生した場合に、安全なルートでより安全な避難場所に短時間で避難出来る事がとても重要です。高齢化が進んでいる現代の状況からして、私たち障害者施設に勤務する地域で職員や利用者と地域の役員(比較的高齢)様と協力して、街に住む人の一人でも命を落とすことが無く、安心・安全に速やかに避難場所に移動することが重要です。このことを実行するために少しの目立つ備品があることで、人の命を救えたらとても嬉しいと考えています。是非ともご理解頂ければ大変嬉しく思います。

上記申請の結果、補助金が 9 月末に確定し、必要な備品が 2 月 6 日に全てが納品されました。

【活動報告】 2 施設(アトリエほっと・しかはま、ボンサンス千寿・法人本部)

別途 3 月末に法人のホームページに掲載

【活動報告】 2施設(アトリエほっと・しかはま、ボンサンス千寿・法人本部)

「アトリエほっと・しかはまの防災グッズを使用して初の訓練を実施」

令和7年の5月に東京都共同募金会に法人の全事業所にとって、大災害時の緊急避難時に重要で且つ大変必要な物品の助成申請金約97万円を申請致しました。9月末に光栄なことに申請が承認頂けました。その後、災害時に必要な商品を取り扱っている株式会社ナカネに必要な物品類を正式に購入依頼いたしました。ナカネさんは私共施設にも各種作業の下請けとしてお仕事を頂いている大変理解のある企業様です。

令和8年2月6日に全商品が整い納品して頂きました。その直後の2月14日にボンサンス千寿の日帰りバスレクにて、ワイアレス拡声器1台とトランシーバー無線機6台を機器操作の慣れの為に持参して使ってみました。何とその効果は凄くて特にトランシーバー無線機は事務所とバスに荷物を積み込む時、距離も可なり離れていましたがクリアな通信が出来て有効活用が出来ました。また、バスで出掛けた際に高速道路のパーキングエリアでは、トイレ組やお買い物組、バスに戻る際の店内の残留者の状況やバスに戻る途中の状況等をつぶさに情報交換する事が出来てとても良い使用訓練にもなりました。

また、アトリエほっと・しかはまでは2月19日に中央共同募金会から頂いたばかりの各種機器を活用して、本番さながらな災害時の避難訓練を実施しました。誘導旗やトランシーバー無線機、誘導中の腕章、職員は全員ビブスを着用して大変有効活用出来てとても有難かったです。写真も掲載します。

また、3月8日にはボンサンス千寿は地域町会(千住1~5丁目)の広域な避難訓練が千住本町小学校で多くの町民が集まって実施されます。そこにも積極的に参加して街の皆さんと一緒に避難訓練をして、一人でも多くの命を守る重要な避難訓練を広く町民に知って頂けるように努めます。



「法人本部とボンサンス千寿が防災グッズを使用して地域の広域避難訓練を実施」
“千住地区広域大規模災害訓練”

令和8年3月8日(日)に法人本部とボンサンス千寿が所在している、足立区千住地域の広域による”大規模災害に備えて“の避難所運営訓練に当該事業所と法人本部が参加しました。

千住一丁目町会から千住五丁目町会の広域の住民が集まって、千住本町小学校避難運営会議が主催で、千住町会の住民、PTA、足立消防署、地域の各消防団、足立区役所、小学校校長及び職員など総勢500人を超える人々が集まって、大規模災害訓練が行われました。天気は良かったのですがとても寒く、風も強く、かなり大変な訓練でした。

自分の命は自分で守るを大きなテーマとして、大きな災害が発生したとしたら、それぞれの命をどのように守るか、自助・共助・公助を理解した上で相互に助け合うことが大切である。避難所に必要な訓練を積極的に皆さんで学習しました。

当法人と事業所がどのように協力出来るかも含めて、皆さんと協力して人の命を救うことに前向きな協力体制を取り合うことで歓迎を受けることができました。

当日の写真を添付します。今後は各地域ごとの避難訓練もありますので積極的に頂いた機器等も活躍して一人でも多くの命を守って行きたいと再認識いたしました。



伝言ダイヤルの使い方



助成で頂いたビブス着用で参加



消火訓練の説明に参加(第一グループ)



街に設置された消火栓の使い方



手持ち消火器を使用するの訓練



開会式で区からの説明と町会長様方



AED を使用しての人命救助